

開催日	2019年11月23日(土)
開催時間	9時30分～11時30分
名称	横浜市消防局横浜市民防災センター体験ツアー
主催者	横浜市消防局横浜市民防災センター
開催場所	横浜市消防局横浜市民防災センター(横浜市神奈川区沢渡4-7:横浜駅西口徒歩10分)
行事内容	横浜市民防災センターの体験ツアー「基本コース」参加
参加人数	9名(神奈川県支部防災支援小委員会8名、他1名)

概要

1. 横浜市民防災センターの体験ツアー参加概要

体験ツアーはインストラクターの案内と解説により、災害に関する体験施設を順番に体験するもので、防災・減災について分かりやすく学ぶことが出来る。体験施設は以下の4種類がある。

- ①災害シアター、②地震シミュレータ、③火災シミュレータ、④減災トレーニングルーム

今回は、防災支援小委員会の活動として、この4種類の体験施設を全て巡る「基本ツアー」(所要時間約60分)に参加したので、その内容を以下に紹介する。

2. 「基本ツアー」の内容

- ①災害シアター : 過去に横浜市を襲った大地震や、今後横浜を襲うことが予想される大地震についてストーリー仕立ての映像で再現する。現在の横浜市の風景を使用した臨場感あふれる演出により、地震による被害を直感的に理解する。
- ②地震シミュレータ : 振動台により、震度3から7までの揺れや、東日本大震災や阪神淡路大震災などの過去の地震、戸建住宅や超高層ビルの揺れなど、様々なシチュエーションの揺れを画像と共に体験する。
- ③火災シミュレータ : 本物の消火器を用いて、CG画像の火災を消火する訓練を行う。また、体に無害な煙を充満した通路を、煙を吸わないように避難する方法を体験する。
- ④減災トレーニングルーム : 一般家庭のリビングをイメージした部屋で、音響や映像により再現される地震・火災などの災害の発生から避難までを疑似体験し、災害から身を守る行動方法を学ぶ。二班に分かれて、外部モニターで別班の災害対応の様子を見ながら意見を交換する。

3. 意見交換

体験ツアー終了後に参加者による意見交換を行った。主な意見を以下にまとめる。

- ・実体験と映像を組み合わせることで様々な災害を体験することにより、子供から大人まで年齢にかかわらず、一人一人の防災意識を高めることに役立つように工夫が凝らされている。
- ・学校や地域で活用していけば、防災意識を高める上で役立つのではないかと。

以上



災害映像の上映状況



体験ツアー後の参加者の意見交換